

● 6月15日(月) 曇 黒松内岳(739.8m)

- 朝4時に目が覚め5時に起床。周りの車はもう出かけているのもあって、昨夜いた相模ナンバーの車はすでに見あたらない。みんな朝が早いな！ 天気は曇っていて気温が低くて寒い。昨夜寝る時は快晴だったのに、この天候の急変はなんだ！ 今年の北海道の夏はどうも天候が安定しないようだ。
- 曇だが雨は降りそうにないので予定通り黒松内岳へ登ることにする。早々に朝食を済ませ出発した。まず黒松内の町に寄って昼食を調達し、道道9号線に出て少し走ると「黒松内岳登山口」の道路標識があるのでそこに入る。目の前が目的の黒松内岳だが、すっぽりと雲の中に隠れて見えない。5km先の登山口に向かって伸びる砂利道を走ると、どん詰まりに駐車スペースがあり、ここが登山口だ。



車はおろか人の気配もなく私一人で実に静かな山だ。北海道の山ではこのように一人は慣れているが、周りを見ると「熊出没注意！」とか「5月15日に熊の目撃情報があった」とか、そこらじゅうに「熊注意！」の看板があり今にも熊が出そうな雰囲気であまり気分が悪い。ただブナの北限の山でブナ林が美しいというので楽しみは大きい。

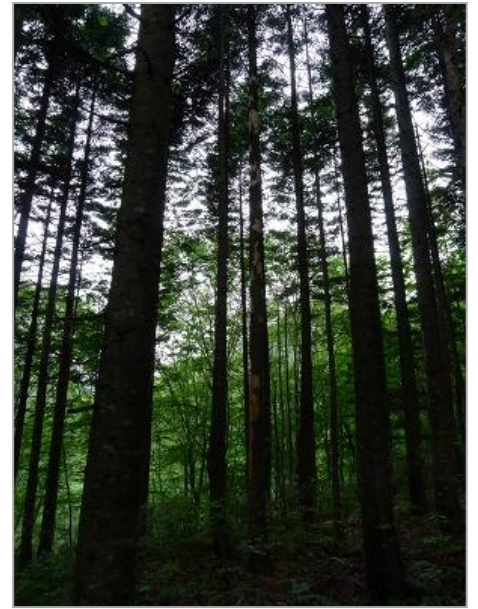


- 入山届けに記入し、目一杯の熊鈴をぶら下げてジャラジャラと音を立てながら8時に登山開始した。
- 一昨日の積丹岳、昨日のニセコアンヌプリにはタケノコ採りの人がいっぱいいて賑やかだったが、

この山にはタケノコが無いのか、私の他には誰ひとりおらず寂しい。登山届を見てみると、昨日は晴天の日曜日だったこともあり数パーティーが入山している。そんなに心配しなくても良いだろう。北海道では珍しく登山口からいきなり急坂が始まった。

- ・エゾ松?などが生い茂り鬱蒼とした林の中の急坂を標高差 300m 弱登ると緩斜面に出て待望のブナ林が展開する。
霧の中から浮かび出る力強い幹と目に眩しい葉の新緑が疲れを忘れさせてくれ、美しいブナを眺めながら6合目で一休み。

ブナ林が実に美しい



- ・ブナ林を抜け八合目から最後の急坂が始まる。ここからは草付きの道で、道端には エゾカンゾウ、チシマフウロ、タニウツギ、シラネアオイ、エゾカラマツなどの花が咲いている。





- ・山頂まで標高差 150m位だがこれがすごい悪路で、張ってあるロープにしがみつきながらやっとのことで標高 740mの山頂に着いた。日本海と太平洋が同時に眺められるという頂上は、残念ながらガスに覆われ視界は無いし人の気配もない。アンパンを 1 個ほお張り即下山した。登りは 2 時間近くかかったが下りは 1 時間もかからなかった。ちょうど宮ヶ瀬の高取山と同じくらいのレベルの山だな。



- ・結局私一人で誰ひとり出会うこともなかったが、熊にも会わずにすんで良かった！ 曇っていたのに蒸し暑く全身汗でびしょりになった。12 時過ぎにプナの森温泉に飛び込んで汗を流した。昨日とは男女の湯船が交替していて、今日は檜の湯船。香りがすばらしい。露天風呂も最高だった。今日も道の駅「くろまつない」に泊予定。

- ・帰り道の途中に駐車場を見つけ寄ってみたら、なんと水道が完備している。昨日も今朝もここを走っているのに気が付かなかった。まだ 1 時過ぎで時間はたっぷりある。今日汚れた靴を洗い、下着類を洗濯し、砂利道で砂を被った車を洗った。そんなことをしているうちに天気が回復し日が差して来た。ラッキー、洗濯物が乾く！



- ・3 時過ぎに道の駅に着いて昨日と同じスペースを確保。天気はすっかり回復して快晴、心地よく吹く風が洗濯物を揺らしている。
 - ・今日の黒松内岳は天気は良くなかったがなかなかいい山だった。プナの林が美しかった。今年の北海道は天候不安定。今天気は良いがこのまま持つのかな？
- 5 時過ぎから夕食。 7 時すぎに就寝。 明日は移動日、室蘭に向かう予定だ。

● 6月16日(火) 曇～晴れ 移動・室蘭へ

○ 5時に起床。どうも天気良くない、外はどんよりと曇っている。昨夜はデパスを1錠飲んで寝たので熟睡し、頭はすっきりしている。今日は室蘭に移動するだけ。室蘭まで80km余しかないのに1時間ちょっとで行ってしまうな、さてどうしようか。周りの車はみんな出かけてしまい、品川ナンバーの軽自動車が1台のみ止まっている。どうも老夫婦がいるらしい。昔はこのような軽自動車で旅をしている人が多かったが、最近は豪華なキャンピングカーが増えて来た。軽自動車はなんとなくわびしく見えるが、郷愁を覚えて懐かしく、うれしくなってしまう。

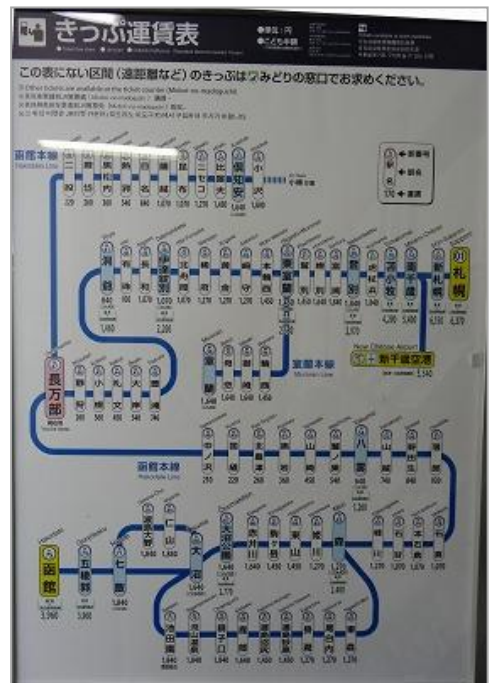
- ・ ゆっくりと朝食をとりメールを開くと、藍澤さんからメールが入っている。忘れずにメールをくれて嬉しい限り。早速返信を入れた。
- ・ 8時になったので、そろそろ出かけるとするか。軽自動車を残してお先に。長万部へ向けて5号線を南下した。一級国道だというのに車は殆ど走っておらず、のんびりと60km走行しても誰にも迷惑をかけない。

長万部の町は何回か走っていて、もう少し大きな町という記憶があったが、意外に小さな町だった。函館本線の主要駅の長万部駅に寄ってみたが、これまた貧弱な寂しい駅だった。



函館本線・長万部駅舎

- ・ 長万部から国道37号線に入って噴火湾沿いに室蘭をめざして走る。この道はかなり交通量が多く、函館から5号線を長万部まで走ってきた車は殆どこの37号線に流れてくる。今来た5号線より、こっちのほうが幹線道路だ。



- ・ 豊浦で噴火湾展望台に寄った。すっかり忘れていたが来てみると以前にも来た記憶がよみがえった。展望館は開いていて展望台にも登れたが、駐車場に車は無く客は誰もいない。店の奥に店員の気配はある。なんという寂しい施設だ！ 私が出る時に車が1台入ってきて若いカップルが下りてきた。



- ・ 虻田を通過し伊達市に入った。伊達市に来たのは3回目になるかな、でかい街だ。天気はすっかり回復し夏の太陽が照りつけて暑い。道の駅「だて歴史の杜」は相変わらず混雑している。ダイソーに寄って、ザックの背当て修理のための紐を購入し、ホームックへ行ってバッテリーを購入。炎天下大汗をかきながら昨日上がってしまった予備電源用のバッテリーと交換した。これで心配なくパソコンが使えるぞ。12時を過ぎて腹がへったが適当な食いもの屋が無いので、室蘭へ直行した。



- ・ 白鳥大橋を渡って道の駅「みたら室蘭」に到着。以前にも来たことがあるが泊まるのは初めてだ。目の前に市立水族館、隣には屋台村や日帰り温泉「ゆらら」があり、室蘭港を目の前に眺め、白鳥橋の向こうには遠く室蘭岳（鷲別岳）を望むことができる大変良い駅だ。駅の喫茶でパンとスープで昼食を済ませたが、時はまだ1時を回ったばかり。天気は無風快晴で夏の太陽が照りつける。



- ・ 時間がたっぷりあるので地球岬へ行くことにした。久しぶりに訪れた地球岬。前回は強風で大変だった記憶があるが、今日は微風快晴の絶好の日和だ。人も少ないし、灯台の回りをのんびりと散策した。スカシユリがきれいに咲いていた。



- ・トッカリショで出会った土地のおばさん（若くて綺麗な人だった）が案内してくれた断崖からの眺めも素晴らしかった。



- ・3時過ぎに道の駅に帰り、涼しい風邪に吹かれながら日記を書いたりパソコンをしたりしていたら、天候が急変。突然冷たい風が吹き出し霧が一面を覆い始めた。なんということだ！
とても外にいられないくらい寒くなった。パソコンもそこそこに車内に入って暖房をつけた。ビールなど飲む気もしない。暖かい味噌汁を作って車内で夕食を簡単に済ませた。
白鳥橋がライトアップされた室蘭港はきれいだと云うが、あたりは一面霧だし冷たい風が吹き荒れているし、景観どころではない。とにかく寒いから寝る。
この天候不順はどういうことだ。昼間が快晴だったので、明日の室蘭岳（鷲別岳）はルンルンだと思っていたのに、どうなることやら。

*内海さんから「本日功労賞を受賞した」とのメールが入ったので、「おめでとう」と返信した。